

学習指導案の形式（例） 中学校国語科

国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日第〇校時
 〇〇中学校 第〇学年〇組〇〇名
 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名

どのような資質・能力を育成するために、どのような言語活動を行うのかが生徒に分かるように工夫する。

2 単元設定の理由

(1) 生徒の実態

- ・本単元で育成したい資質・能力に関わって、客観的なデータやこれまでの評価の積み重ねから生徒の実態を分析する。
- ・生徒の実態から単元を構想するという考え方に立ち、生徒の実態を具体的に書く。

(2) 単元観

- ・教材の内容分析，既習事項との関連などについて，身に付けさせたい力に沿った観点から書く。

(3) 指導上の工夫

- ・身に付けさせたい資質・能力を育成するための具体的な指導の工夫（手立て）について記述する。

3 単元の目標

学習指導要領の指導事項を書く例：(1)ア

○～……（指導事項を抜き出して文末を変える）…～することができる。〔知識及び技能〕

○～……（指導事項を抜き出して文末を変える）……～することができる。

〔思考力，判断力，表現力等〕

○言葉がもつ～……～伝え合おうとする。

「学びに向かう力，人間性等」

学習指導要領の学年目標の「言葉がもつ価値～思いや考えを伝え合おうとする」までを示す。

4 本単元における言語活動

単元の目標を実現するために適した言語活動を，言語活動例を参考にして位置付ける。

例：「走れメロス」を読み，登場人物の言動の意味について考えたことを語り合う。

（関連：〔思考力，判断力，表現力等〕C(2)イ）

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
～……（指導事項を抜き出して文末を変える）……～している。 (1)ア	「(領域名)」において，～……（指導事項を抜き出して文末を変える）……～している。(B(1)エ)	①粘り強さ ②自らの学習の調整 ③他の2観点において重点とする内容 ④当該単元の具体的な言語活動 文末は「～しようとしている。」

6 指導と評価の計画（全○時間）

※内容や時間のまとまり（単元）を見通しながら、生徒の主体的・対話的で深い学びが実現されるようにする。

※教科の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元を見通しながら評価の場面や方法を工夫して学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにする。

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
本時 (/)	生徒の活動を具体的に記す。※単元において主たる活動を書く。 (例：～を音読する。 ～を書く。など)	評価規準とあわせ「おおむね満足できる状況(B)」とする生徒の状況(姿)を想定しておくことが大切。	例：[知識・技能] ① <u>ワークシート</u> ・根拠に関連する具体的な出来事や事実を記入しているか確認する。

7 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・本時の具体的目標を生徒の行動目標で書く。
- ・「単元の目標」「具体の評価規準」との整合性を図ること。

例：文末は「～することができる。」

(2) 本時の展開の例

学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1 ※活動やめあての確認について記す。	※活動に対して中心となる指導・支援を記す。	※評価の方法と、単元の評価規準を踏まえた「Bと判断する状況」(具体的な生徒の姿)を記述する。
2 ※学習過程に沿って具体的に記す。 (1) ※活動の順序性がある場合には、(1)(2)のようにして記す。	※具体的な手立て等を記す。 例：～することで、～させる。	例：[思考・判断・表現] <u>ノート</u> ・知識や経験を踏まえた、登場人物と自分のものの見方や考え方を比較する。 [主体的に学習に取り組む態度]
3 ※本時のまとめや振り返りについて記す。 [生徒の立場で書く]	 [指導者の立場で書く]	<u>観察・ノート・振り返りシート</u> ・登場人物同士の言動の関係が、話の展開においてどのような意味をもつのかを考えているかを確認する。

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	「おおむね満足できる」状況(B)を実現した生徒が、さらに質的な深まりや高まりをもっている姿(A)を具体的に想定して記述する。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・手立て	指導の手立てを具体的に想定して、記述する。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」を基に作成をしています。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyoku.html>